

会派の活動を報告します

古河維新の会

古河維新の会では、6月に今年度予算で駐車場拡張工事に伴う調査設計が計上されている道の駅「まくらがの里こが」の現地調査を実施した。道の駅の利用者数は、当初見込みを大幅に上まわり、平成 29 年度の年間レジ通過者が約 110 万人、売り上げも 11 億円を超えるまでに増えていると聞く。特に、土日祝日のピーク時には、慢性的な駐車場不足が生じ、苦情も寄せられているとのことで、一日も早い対応を求めている。

また、古河市では日野自動車関連企業誘致のため、新産業用

地の開発など、市内雇用の増加や若者の定住促進への支援を進めているが、この道の駅活用による交流人口増も地域活性化には欠かすことができない。単なる駐車場の拡張だけでなく、歓迎サインの設置やより利用者ニーズに合ったイベント企画など創意工夫を凝らした運営を求めている。

また、平成 30 年度予算における会派意見として、消防団家族に対する功労報償金の継続、副市長 1 名分の予算減、市民から要望の多い道路改良費の増額など市民生活に直結した予算要求を求めている。

これからも各種施策・事業の検証や調査研究など市民目線で

頑張りたい。



会 長	増田 悟
副会長	倉持 健一
幹事長	山腰 進
会 計	稲葉 貴大

市政同志会

市政同志会では 6 月に市内の老朽化したスポーツ施設の視察を行った。

①古河市サッカー場

平成 30 年第 2 回古河市議会定例会において、会派を代表し佐藤泉議員が紹介議員を務めた「古河市サッカー場の改修を求める請願」が全会一致で可決された。

古河市サッカー場は昭和 57 年に竣工され、かなり老朽化が進んでおりナイター設備もない状況である。

改修は喫緊の課題であるとして担当部署に要望した。



古河市サッカー場視察

②古河体育館

昭和 46 年に建築されており、破損部分が多く見られ、いつ使えなくなるか分からない状態である。雨漏りによる漏電の危険性もありうる状態で、床も改修の必要があると考える。

建て替える場合、全ての利用団体に対してアンケートを取ることを担当部署に要望した。一日も早く新しい施設が必要と考える。また、文化センターと併設が望ましい。



古河体育館視察

会 長	渡邊 澄夫
副 会 長	小森谷英雄
幹事長兼会計	佐藤 泉